

異文化理解講座



アフリカの 今を知る

参加
無料

先着100名
予約不要

—文化やスポーツを通じてつながる—

日本とアフリカの関係は、支援する国される国と思われがちですが、実際は文化やスポーツを通じて人と人との豊かにつながっています。よさこい・歌・野球を通してつながるアフリカの国々を楽しく知ってもらい、今年8月に横浜で開催される第7回アフリカ開発会議を応援しましょう。



講演

「高知で考える
TICAD7とSDGs」

JICA四国 所長 小林 広幸



講演

「ガーナのよさこい」

JICAガーナ事務所
所長 星 弘文

講演・
コンサート



「ルワンダの歌
～涙を超えて～」

ミュージシャン
マニ・マーティン



NPO法人
ルワンダの教育を考える会
とわり
理事長 永遠瑠マリルイズ

講演・トークセッション

「ブルキナファソの野球と文化」



JICA研修員
ネソン・サンバ



高知ファイティングドッグス
サンボ・ラシナ



青年海外協力隊OB
(派遣国:ブルキナファソ
職種:野球)
安河内 聖

2019

6/22 土

13:30~16:30
(開場:13:00)

オーテピア4Fホール 高知県高知市追手筋2-1-1



※プログラムの内容・スケジュールが一部変更となる場合がありますので、ご了承ください。

主催: 公益財団法人 高知県国際交流協会(KIA)/独立行政法人 国際協力機構 四国センター(JICA四国)
共催: オーテピア高知図書館(高知県立図書館・高知市立市民図書館)

お問い合わせ KIA:088-875-0022(担当 廣瀬・JICA高知デスク 杉尾)/JICA四国:087-821-8824(担当 山科)



アフリカの 今を知る

—文化やスポーツを
通じてつなげる—

2019 **6/22** 土
13:30-16:30



講演 13:30~

「高知で考えるTICAD7とSDGs」

講師 JICA四国 所長 小林 広幸



今年8月に横浜で第7回アフリカ開発会議 (TICAD 7) が開催されます。持続可能な開発目標 (SDGs) 達成のための重要なパートナー、アフリカ。そして、日本と高知を元気にしてくれる、アフリカを紹介します。少しでもアフリカの国々を身近に感じてください。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

講演 13:45~ 「ガーナのよさこい」



講師 JICAガーナ事務所 所長 星 弘文



「ガーナ」と聞いてなにを思い浮かべますか？

赤いパッケージのチョコレート？それとも千円札の野口英世？

えっ、「よさこい」ですって？！そんなあなたはガーナ通です！

チョコレートの原料でありガーナ特産のカカオ、ガーナで90年前に黄熱病で亡くなった野口英世博士、そしていまガーナの高校生をとりこにしている「よさこい」などを通じて、いまとそして将来のガーナについてお話しします。

講演・コンサート 14:30~ 「ルワンダの歌 ~涙を超えて~」



赤道直下にあるルワンダは、四国の1.5倍程度の小さな内陸国です。1994年に起きた大虐殺 (ジェノサイド) から25年目を迎えますが、ルワンダの人々はその悲劇を繰り返さないために過去に向き合い、未来に向けて歩み続けています。ジェノサイド当時5歳で、今は歌手として活躍しているマーティンさんの歌を通して平和を考えましょう。

講師 NPO法人 ルワンダの教育を考える会 理事長 永遠瑠マリールイズ



ルワンダで洋裁の教師をしていた時に、JICA研修で来日。1994年にルワンダに帰国すると、内戦が勃発し、隣国の難民キャンプへ逃れ、その後再来日。現在は、日本国籍を取得し、ルワンダの教育支援のためのNPO団体の代表をしています。

出演 ミュージシャン マニ・マーティン



ルワンダの国民的ミュージシャン。自ら楽曲制作を行い、広島と長崎の原爆投下を悼むコンサートや、国際的な音楽フェスティバルに参加し、ルワンダ国内外で音楽を通して平和の大切さを伝えています。

講演・トークセッション 15:20~ 「ブルキナファソの野球と文化」



「ブルキナファソ」という国名は、現地語で「高潔な人々の国」を意味します。この国に住む人々はその名前のとおり、真面目で勤勉な人々が多く、チャンスをつかめば大きく飛躍する可能性を秘めています。JICAは2008年に野球指導の青年海外協力隊の派遣を開始し、現地で野球の普及活動をしています。同国の紹介と、東京オリンピック出場を目指してアフリカ予選を勝ち進んでいるブルキナファソの野球チームについてお話しします。

JICA研修員 ネソン・サンバ



ブルキナファソ農業・水整備省の職員で、高知大学大学院修士課程に在籍し、野菜のハウス栽培について研究しています。

高知ファイティングドッグス サンホ・ラシナ



青年海外協力隊員の指導で野球を始め、2013年来日。高知に在籍しながら野球ブルキナファソ代表選手として2020年東京オリンピックの予選に出場。

青年海外協力隊OB 安河内 聖
(派遣国:ブルキナファソ 職種:野球)



2010年から2012年まで青年海外協力隊としてブルキナファソ野球・ソフトボール連盟に所属し、野球の指導を行う。現在は高知県内の中学校教員。